

令和8年度 第1回 恵庭市

恵庭市交通安全対策会議

議事録

日時 令和8年9月1日（火）10時00分～10時55分

会場 恵庭市役所3階 第2・3委員会室

<出席者>

会 長 原田市長

委 員 堀田委員、高橋委員、三春委員、平田委員、横道委員、岩渕委員、石崎委員、
野村委員、長屋委員、足立委員、山口委員

欠 席 なし

事務局 狩野生活環境部次長、加賀谷生活環境課長、
吉成生活環境課主査、中村生活環境課主任主事（議事録作成）

傍聴者 1名

1 開会（加賀谷課長）

2 委嘱状の交付

改選のため全員に委嘱状交付

3 会長挨拶（原田市長）

先ほど委嘱状を交付させて頂きました。任期中のご協力よろしくお願いいたします。

本日お集まりの皆様方には、お忙しい中、貴重なお時間を拝借し、本会議にご出席いただきましてことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、本市におきましては、昭和46年度以降、11次・55年にわたり「恵庭市交通安全計画」を策定し、国、道、市及び関係団体等が一体となって、交通安全対策を強力に推進して参りました。

近年の状況を見ますと、本市の交通死亡事故件数は、平成28年から令和7年までの10年間で9件であり、令和3年及び令和7年は1年間を通じてゼロとなっております。また、令和6年の死亡事故以来、交通死亡事故ゼロ日数は、本日現在で959日となり、過去最高を更新しているところであります。

しかしながら、事故そのものは発生しており、減少させていくことが引き続き強く求められております。

ひと昔前は、国道453号線で毎年のように事故が発生していました。特に二輪車の事故が多かったのが、近年はそのような事故も交通安全施設の対応によって減少してきました。関係各所の皆様の対応に感謝申し上げます。

これからも交通事故撲滅に向けてご尽力をお願いしたいと思います。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

4 委員および事務局員の自己紹介（各委員、事務局員）

5 議 事

1) 近隣市町の策定状況について（アンケート結果）

⇒ 資料①のとおり説明

【 質 疑 】

なし

2) 計画期間の考え方

⇒ 資料②のとおり説明

【 質 疑 】

なし

3) 交通事故等の現状の比較

⇒ 資料③のとおり説明

【 質 疑 】

堀田委員：

2 ページ目のみ 10 年間の記載となっているのはなぜか？

吉成（事務局）：

計画に記載しているものを抜粋した資料であるため 10 年間の推移を記載しています。

資料③ 2 ページ目の右側に記載している数値については、5 年間の合計となっています。

資料③の記載についてわかりづらい部分についてはお詫び致します。

4) 第 12 次恵庭市交通計画（素案）について

⇒ 資料④～⑥のとおり説明

【 質 疑 】

堀田委員：

P14 や P16 のキロメートルの表記について表現を合わせたほうがよい。わかりやすさでいくと km/h のほうがよいのではないか。

中村（事務局）：

北海道計画との表記とも合わせていますが、わかりやすさを含めて修正するか検討します。

会長：

P3 では、これからの 6 年間に於いて特に注視すべき事項を記載しています。

大規模な開発行為は、ファイターズの新ファーム拠点の整備にあたっては、交通安全の観点から十分考慮したまちづくりをすすめること、また、北海道計画でも記載がありますが、外国人人口の増加に伴い、日本の交通ルールを理解してもらう対策を講じていくこととしています。

会長：

他にご意見ないでしょうか？

— なしの声 —

会長：

他にないとのことなので、これを基本に進めていきたいと思います。
読んで気づいた部分は事務局に共有してください。

6 その他

- 1) 今後のスケジュールについて
⇒ 資料⑦のとおり説明

【 質 疑 】

なし

【意見交換】

会長：本日から生活道路の速度規制が30キロメートル毎時となるが取締などはどうのように行われますか？

三春委員：取り締まりをすることで注意喚起となるため、事故の多い箇所は生活道路に限らず、取締を行い、事故抑止に努めていくこととしています。

平田委員：今後、恵み野駅付近で開発が進んでいくことと思います。開発対象地区に踏切が2つあり、工事で大型車両などが出入りするとことも想定されるので、綿密な協議をしていきたいと考えています。

～閉 会～